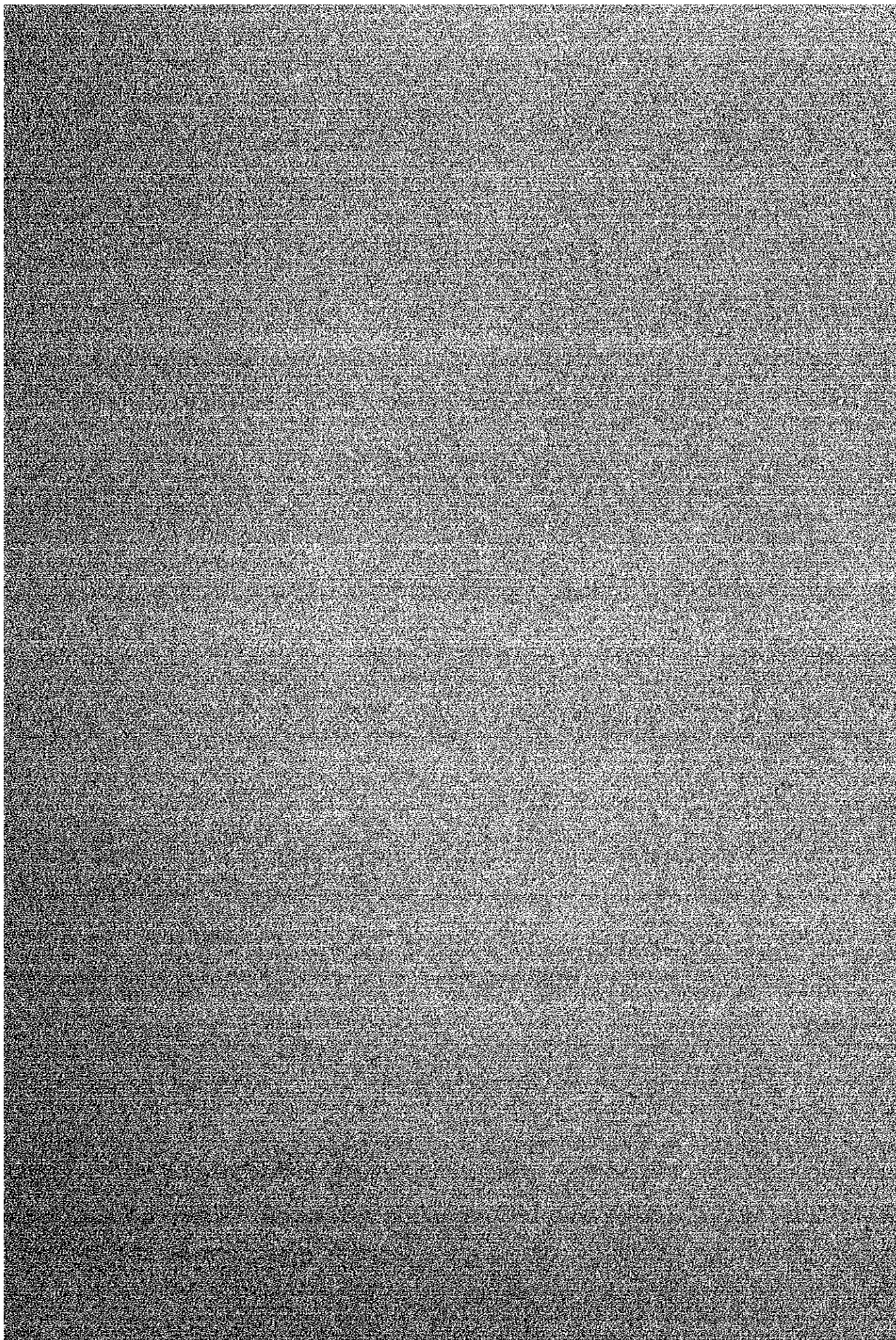


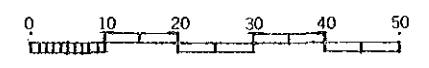
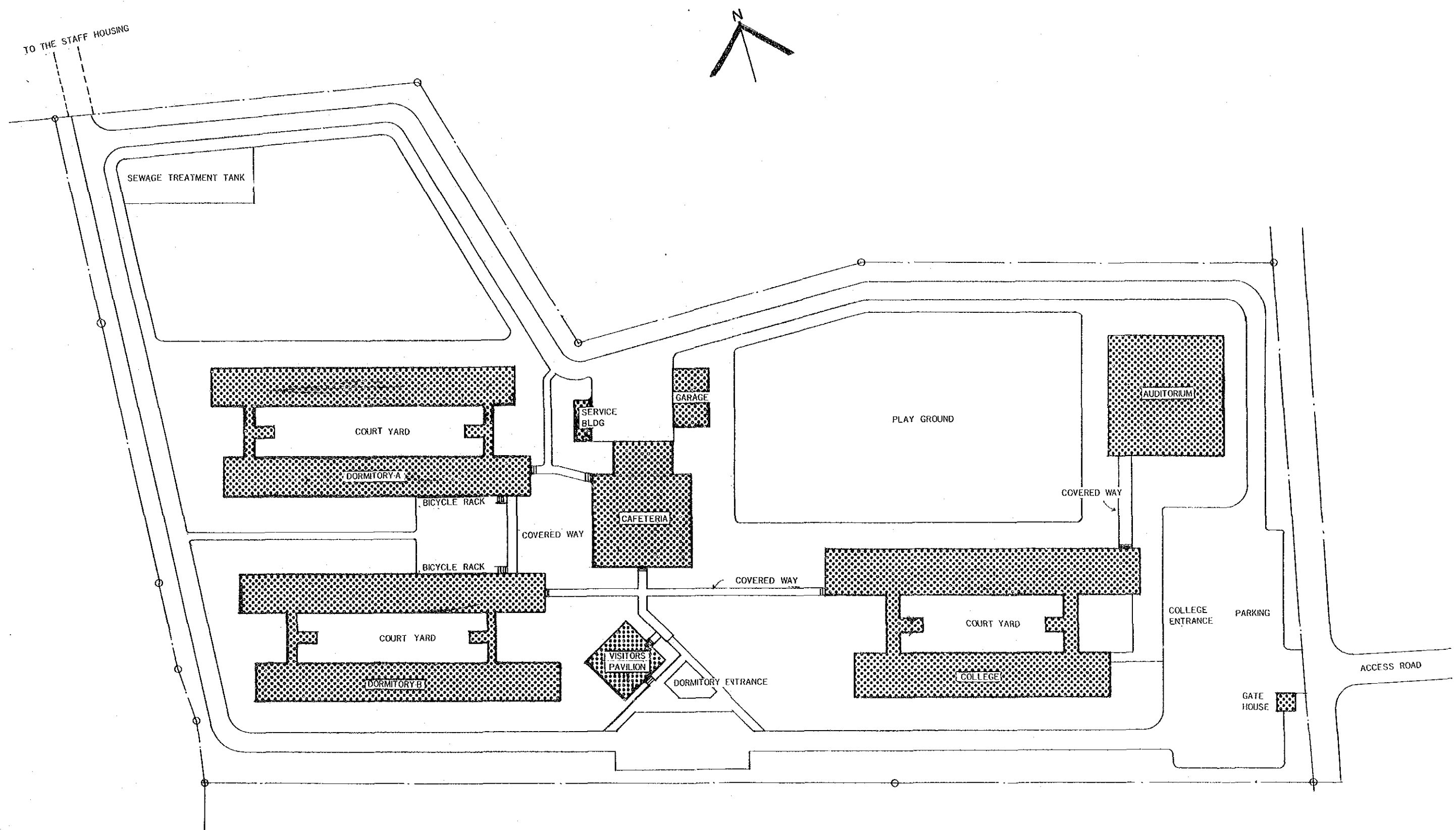
## 第 5 章 基本設計図



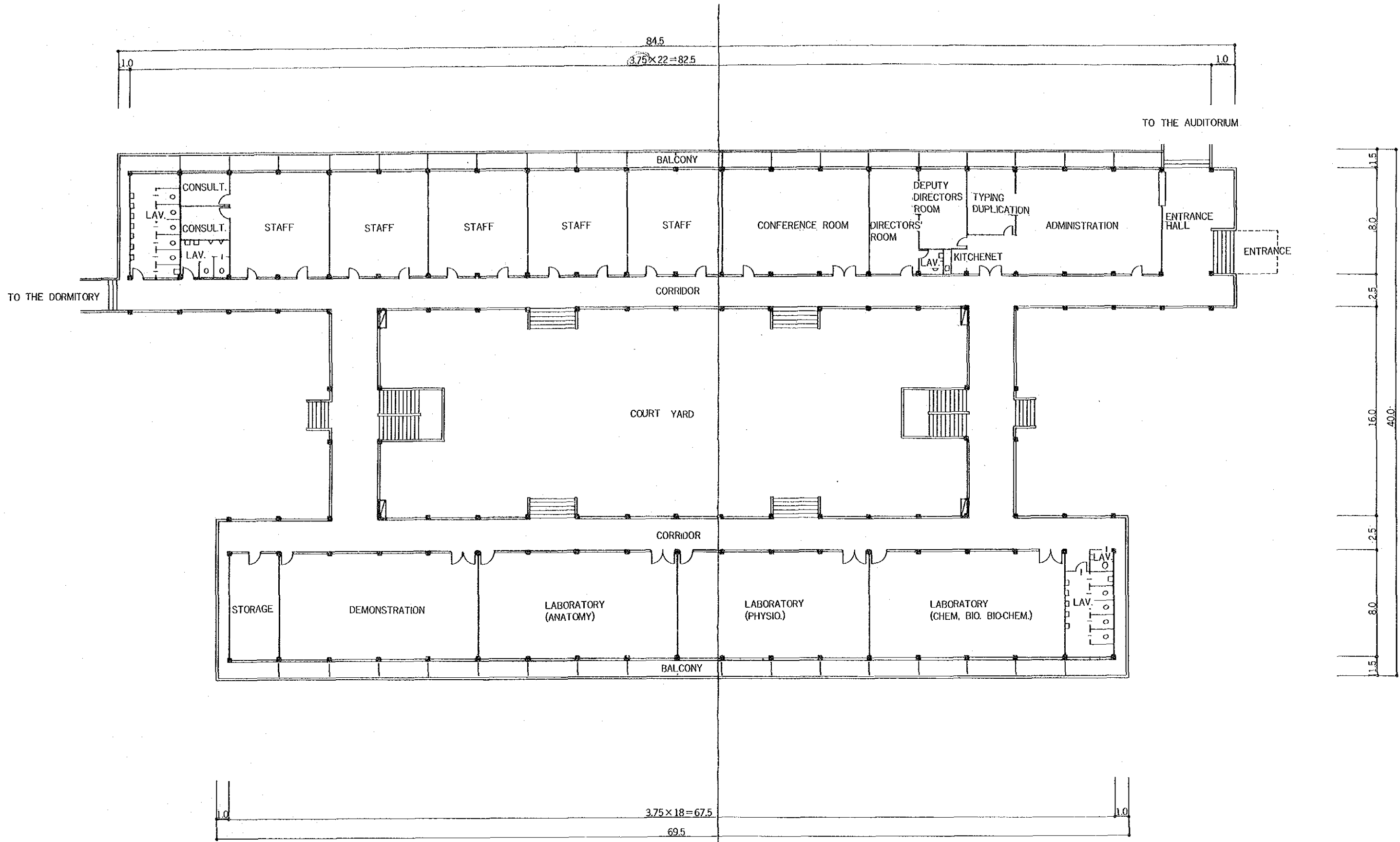
# マハサラカム看護学校建設計画 基本設計

## 図面リスト

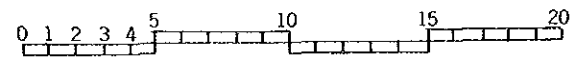
- |               |          |
|---------------|----------|
| 1. 配置図        |          |
| 2. 校舎         | 1階平面図    |
| 3. 校舎         | 2階平面図    |
| 4. 学生寮-A      | 1階平面図    |
| 5. 学生寮-A      | 2階・3階平面図 |
| 6. 学生寮-B      | 1階平面図    |
| 7. 学生寮-B      | 2階・3階平面図 |
| 8. 食堂・面会室     | 平面図      |
| 9. 講堂         | 平面図      |
| 10. 校舎・寮-B    | 立面図・断面図  |
| 11. 講堂・食堂・面会室 | 立面図・断面図  |

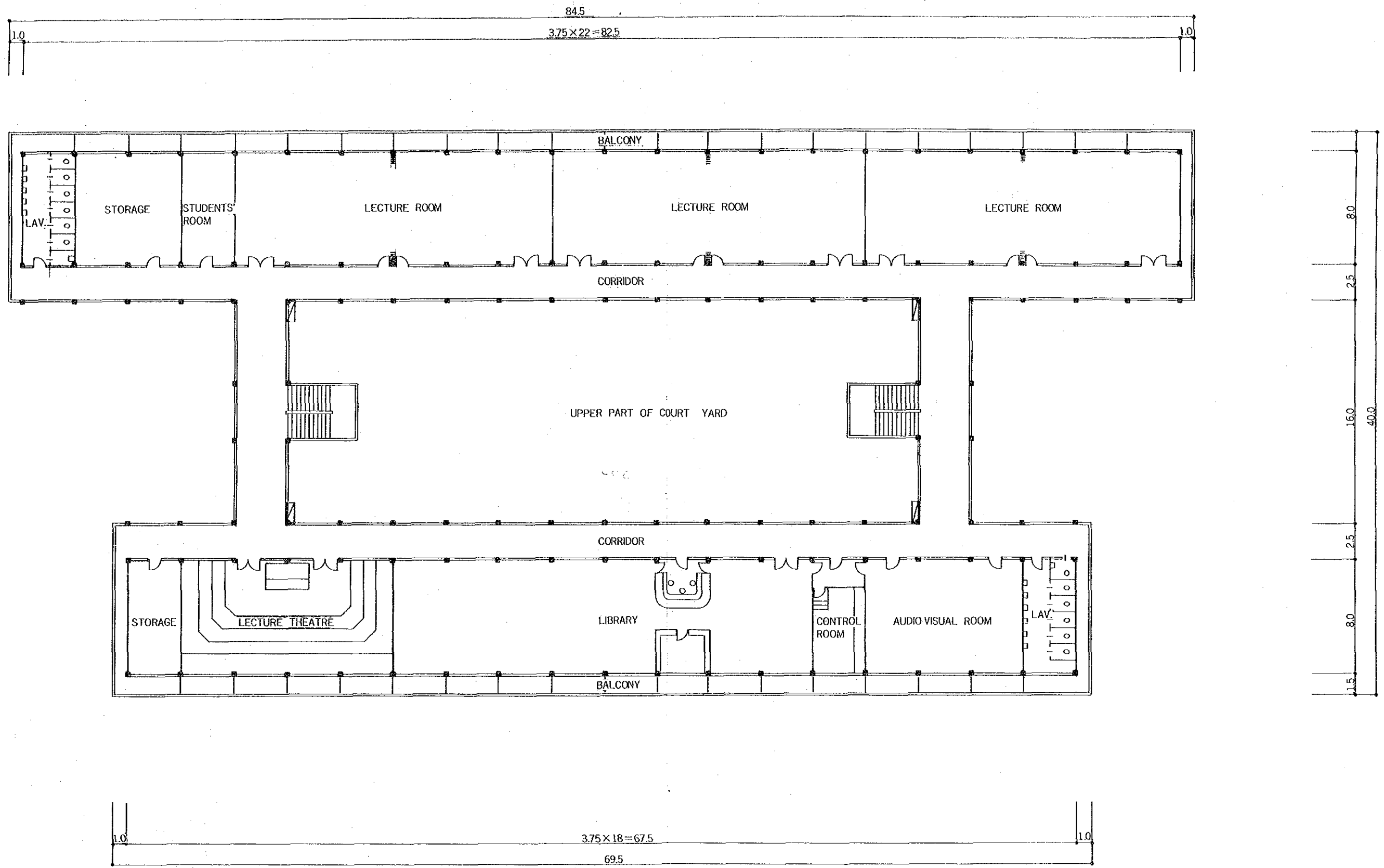


配置図  
マハサラカム看護学校

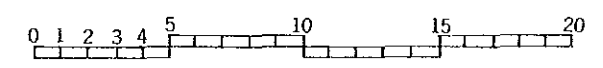


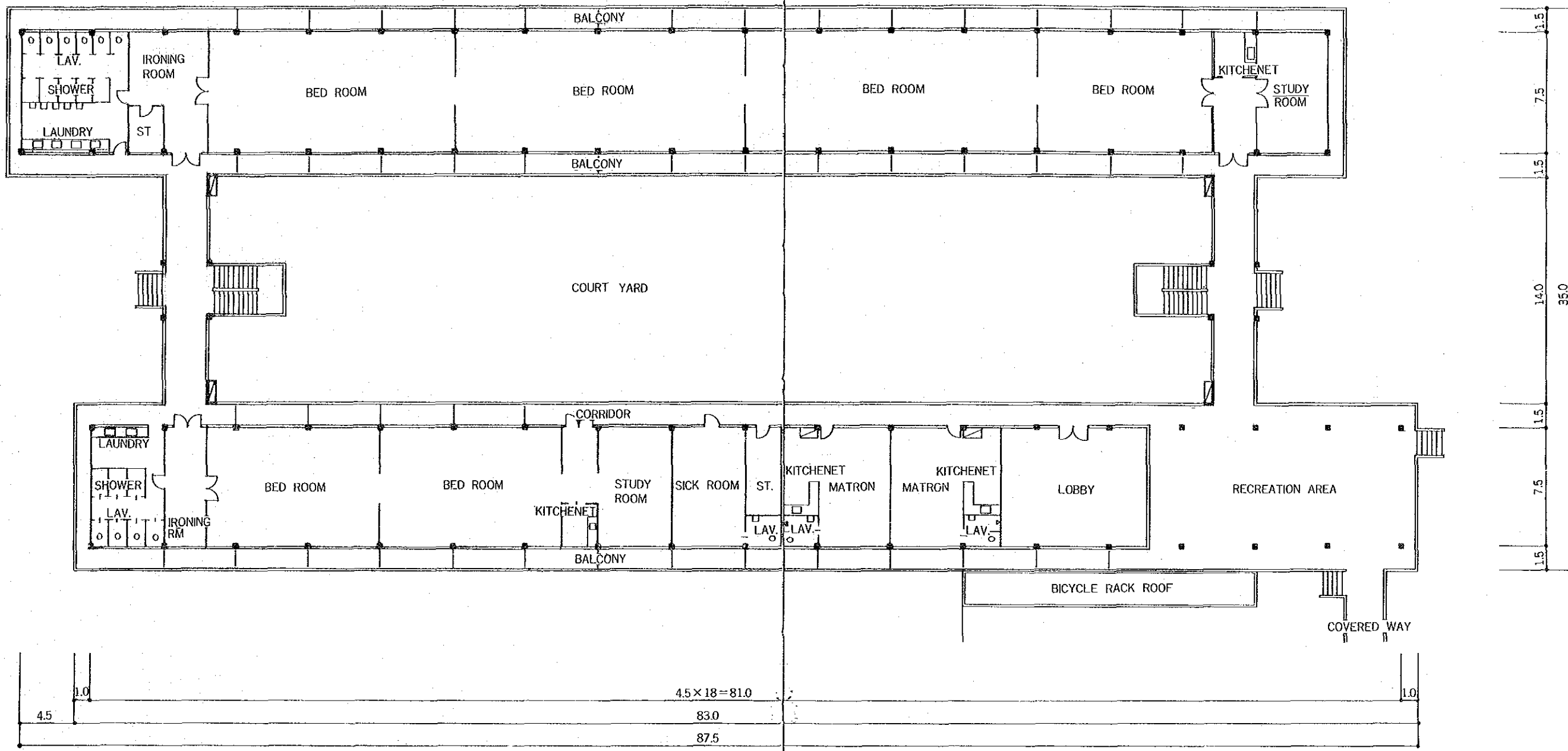
1 ST FLOOR PLAN



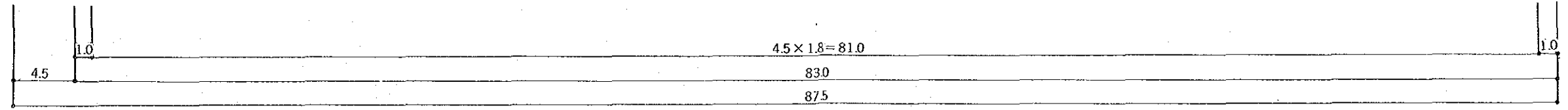
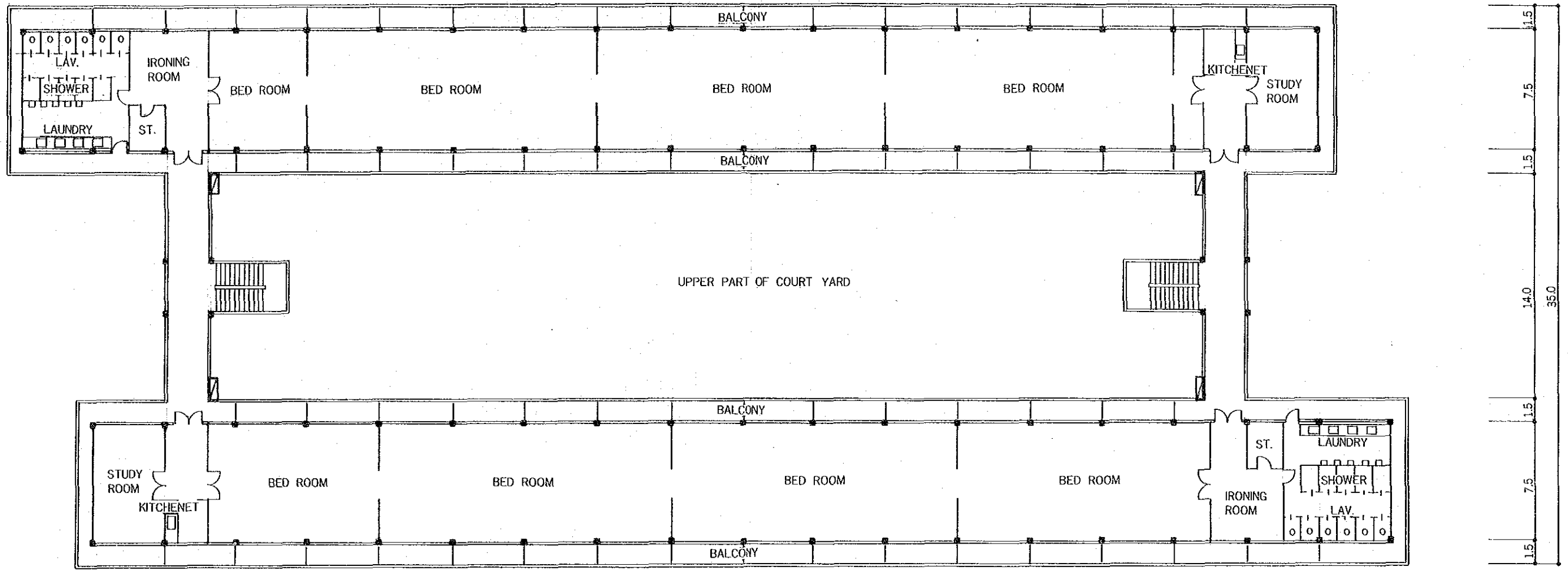


2 ND FLOOR PLAN

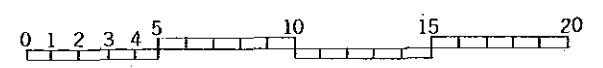




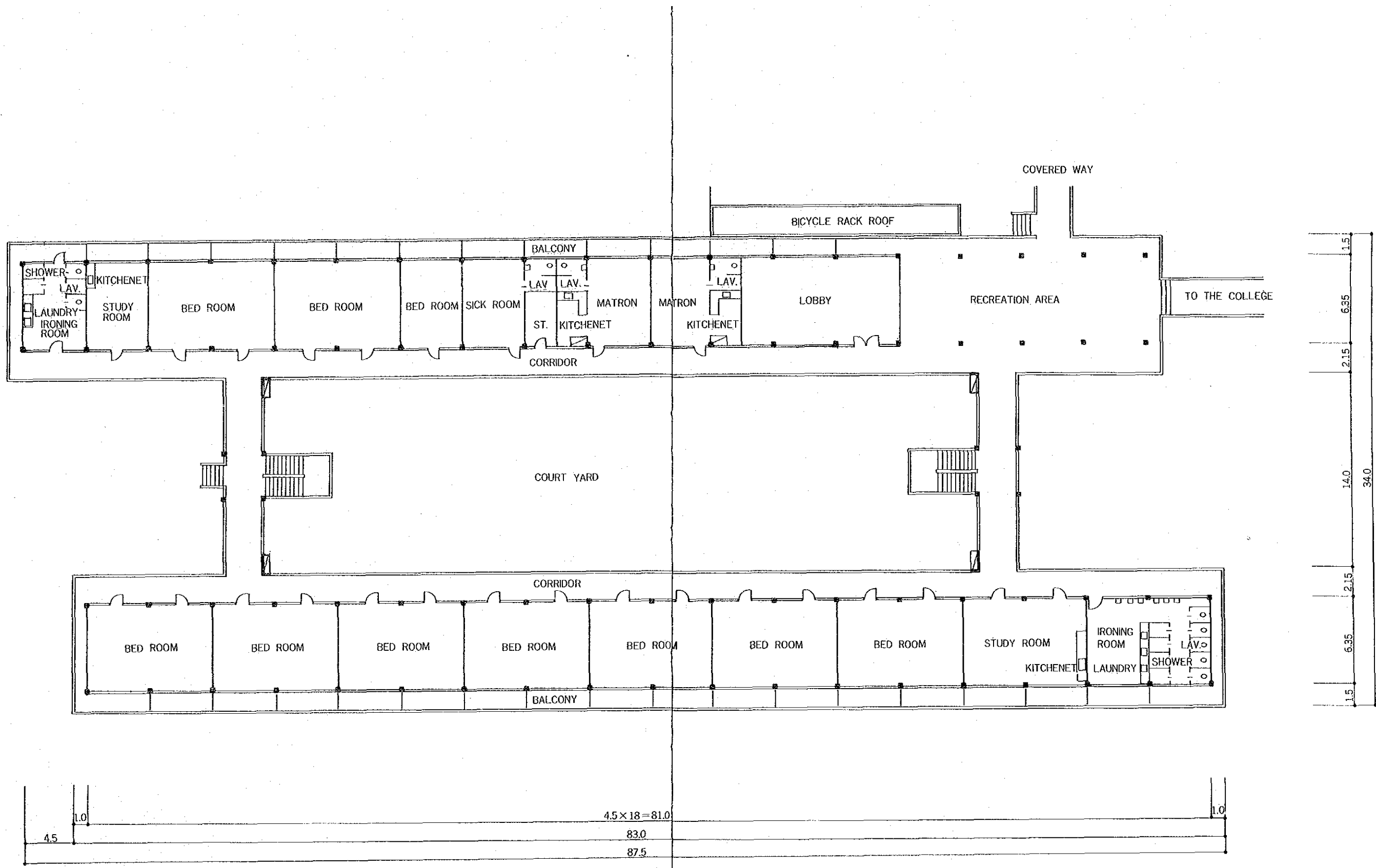
1ST FLOOR PLAN



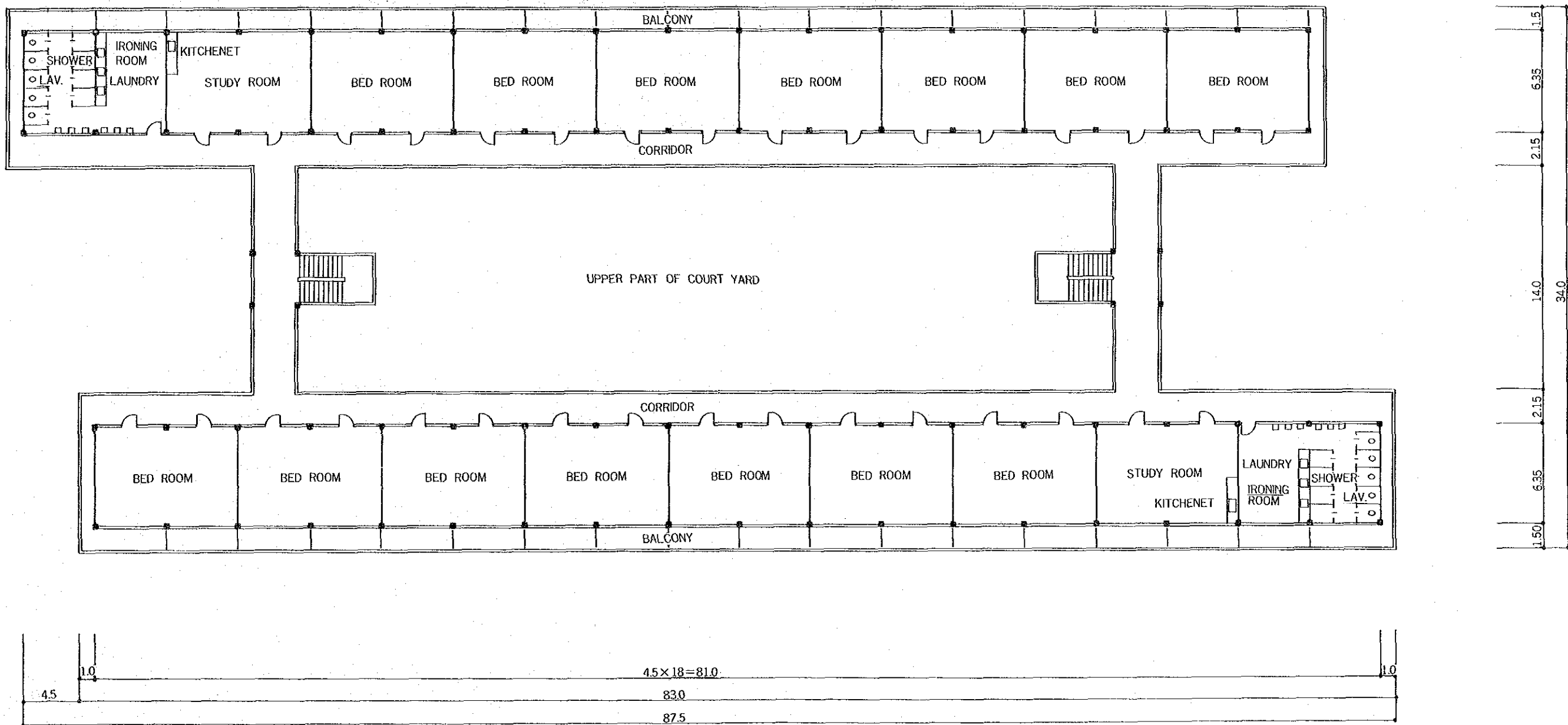
2ND & 3RD FLOOR PLAN



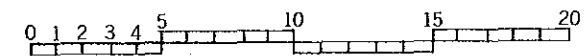


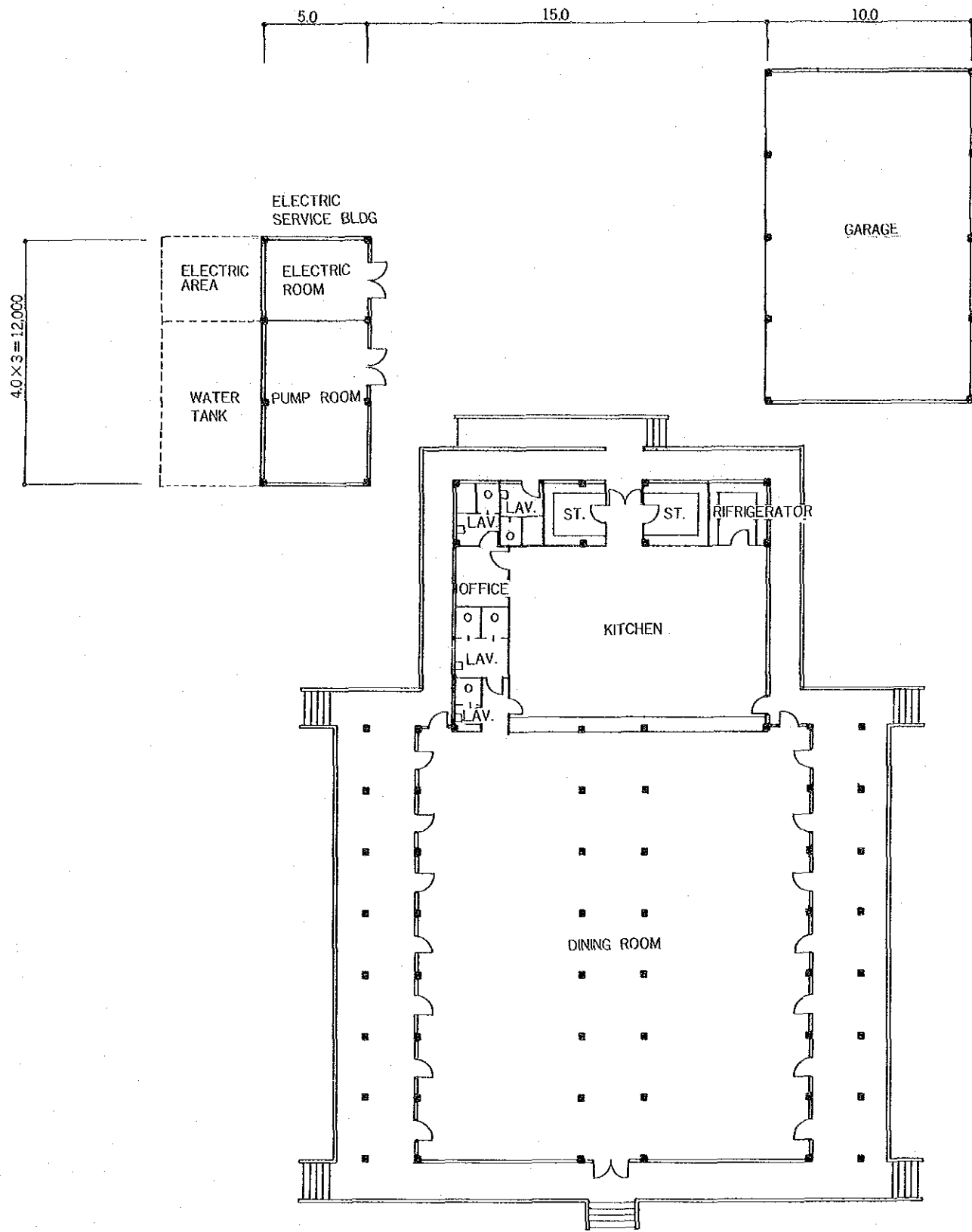


1st FLOOR PLAN

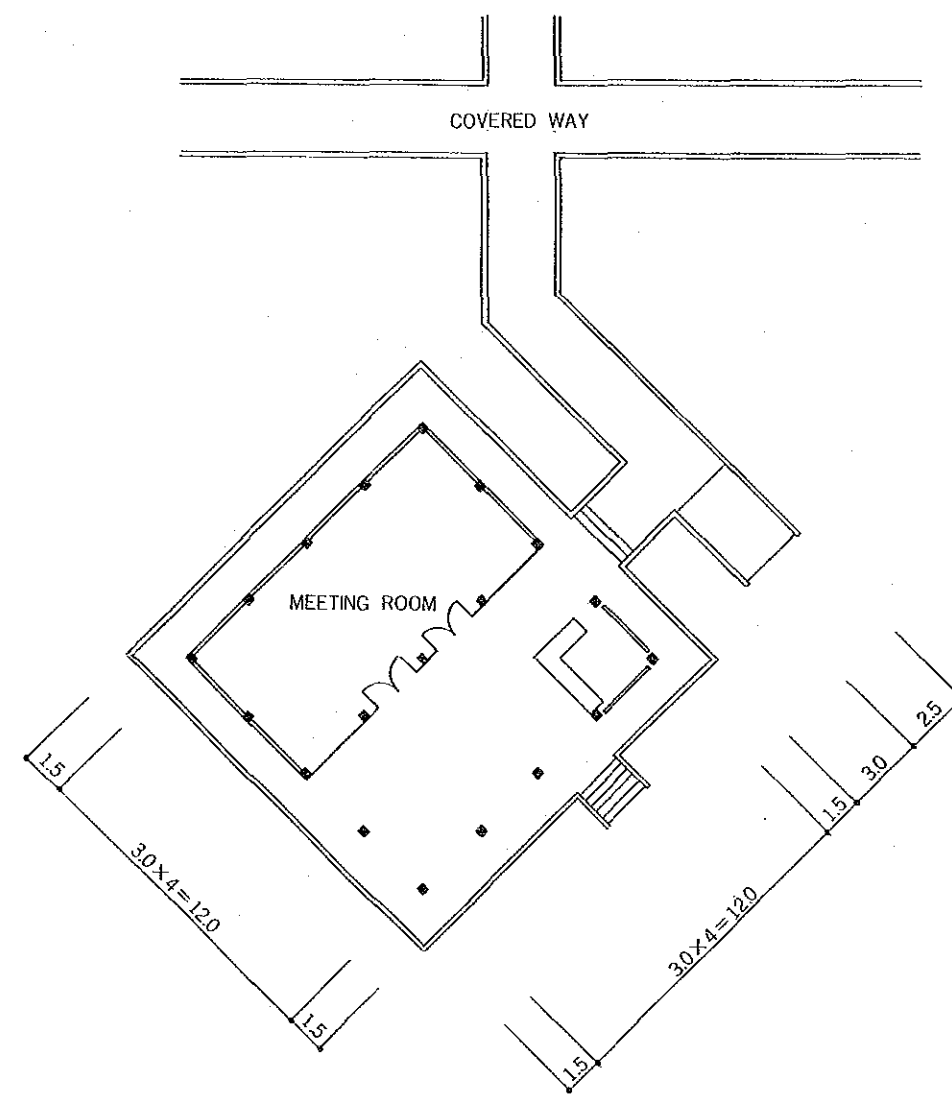
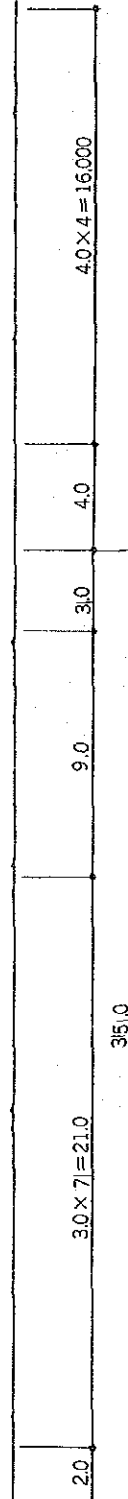


2ND & 3RD FLOOR PLAN

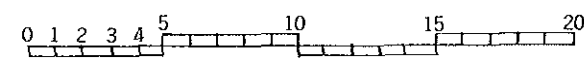


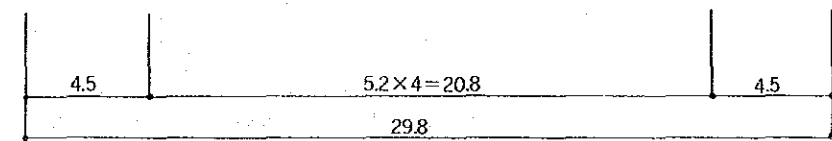
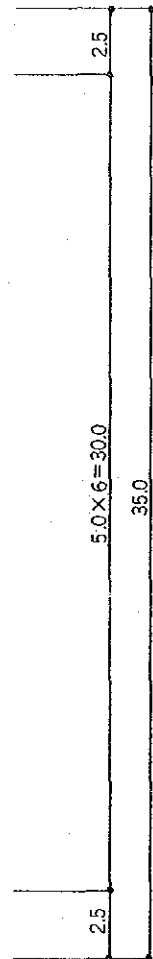
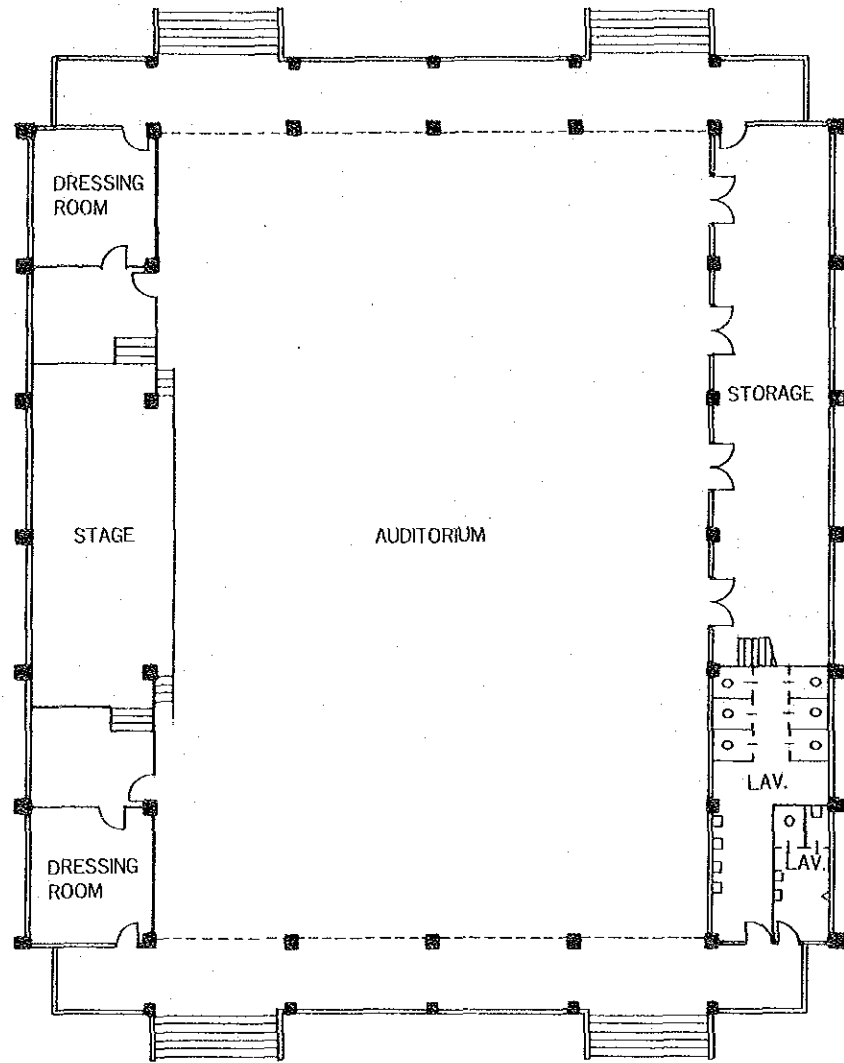


CAFETERIA PLAN

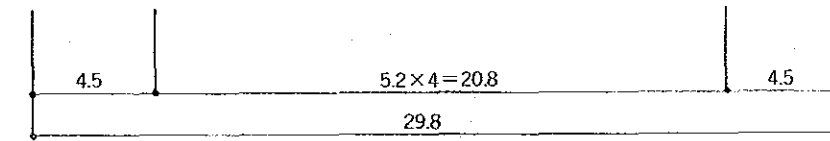
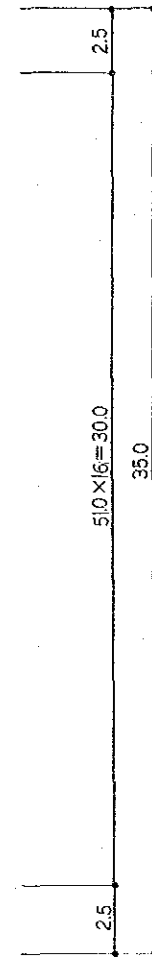
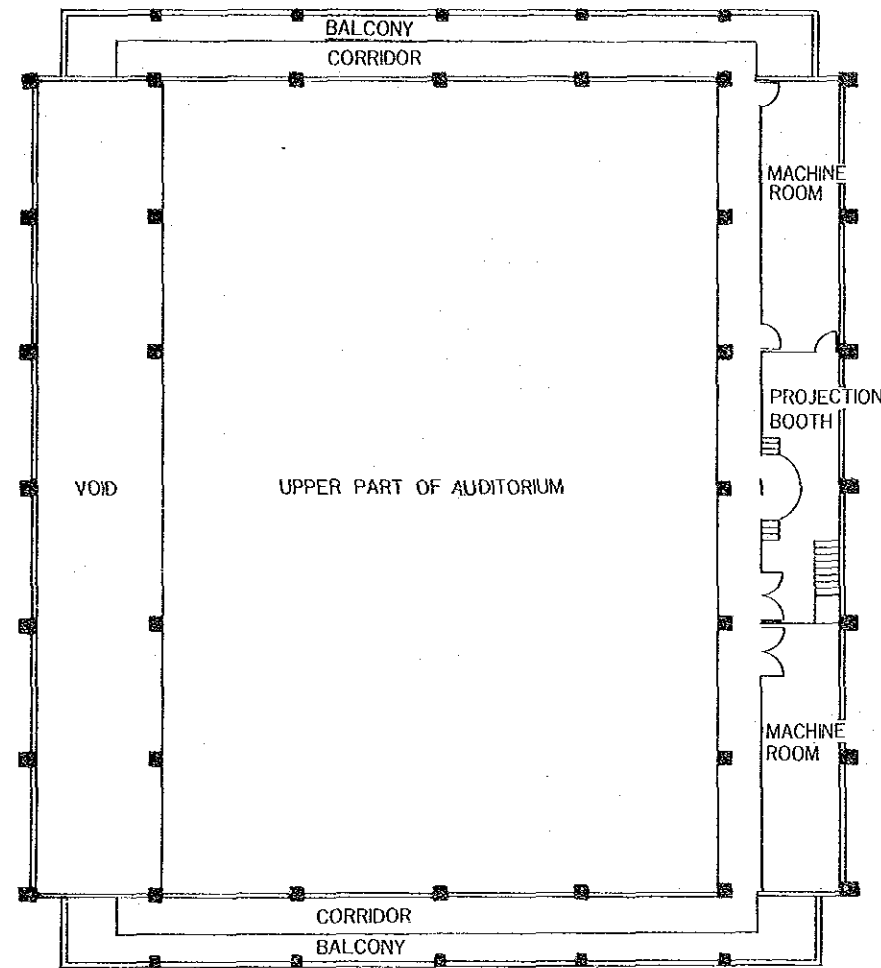


VISITORS' PAVILION PLAN

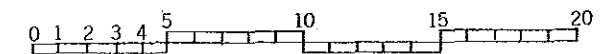




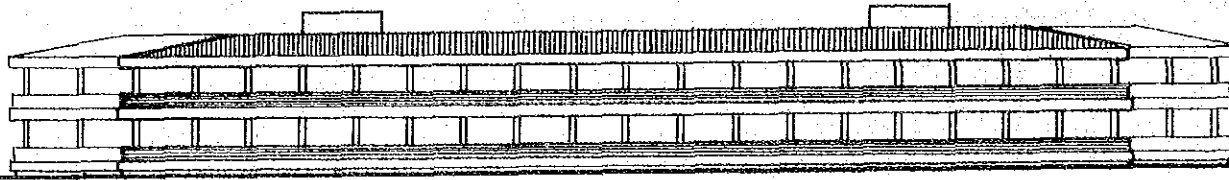
1ST FLOOR PLAN



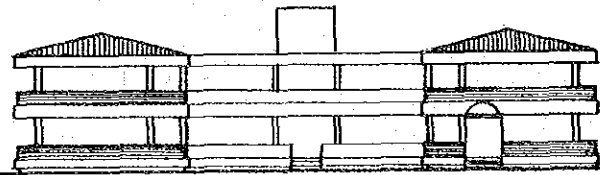
2ND FLOOR PLAN



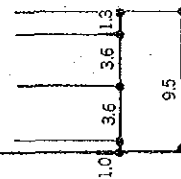
COLLEGE



SOUTH ELEVATION

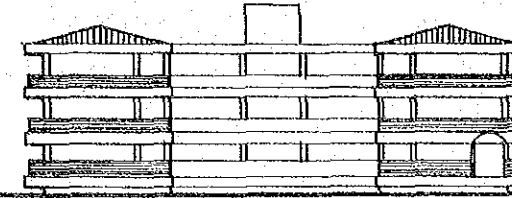


EAST ELEVATION

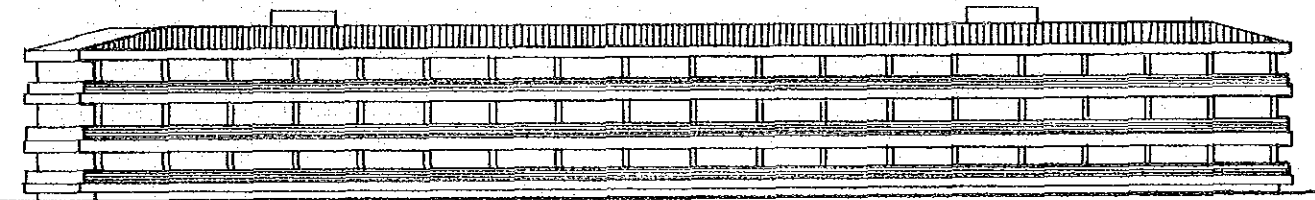


SECTION

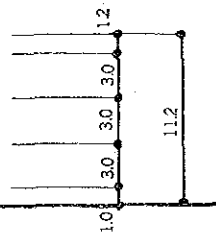
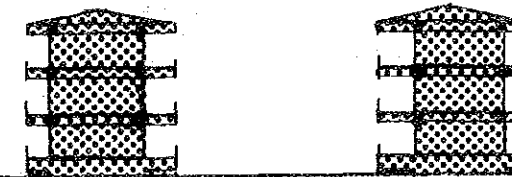
DORMITORY-B



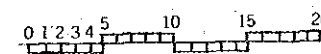
EAST ELEVATION



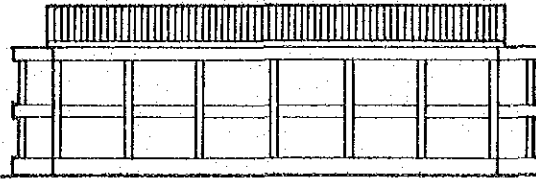
SOUTH ELEVATION



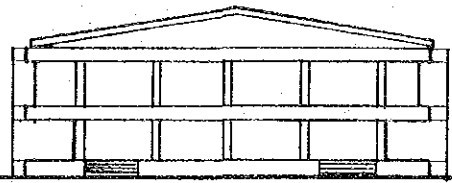
SECTION



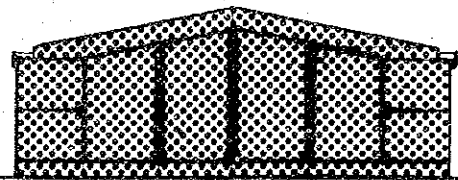
AUDITORIUM



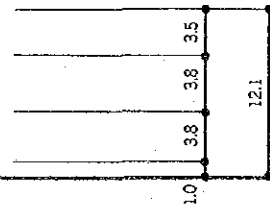
EAST ELEVATION



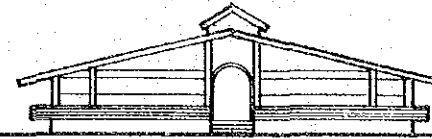
SOUTH ELEVATION



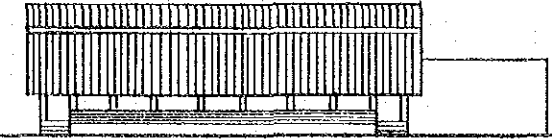
SECTION



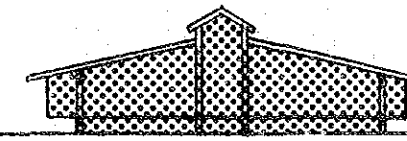
CAFETERIA



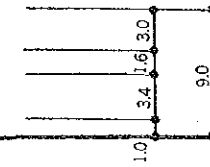
SOUTH ELEVATION



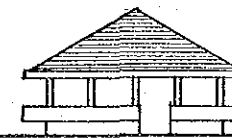
EAST ELEVATION



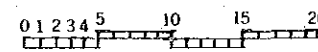
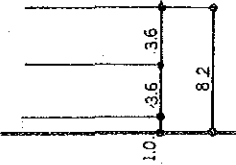
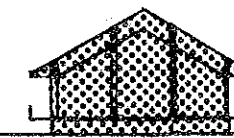
SECTION



VISITORS' PAVILION



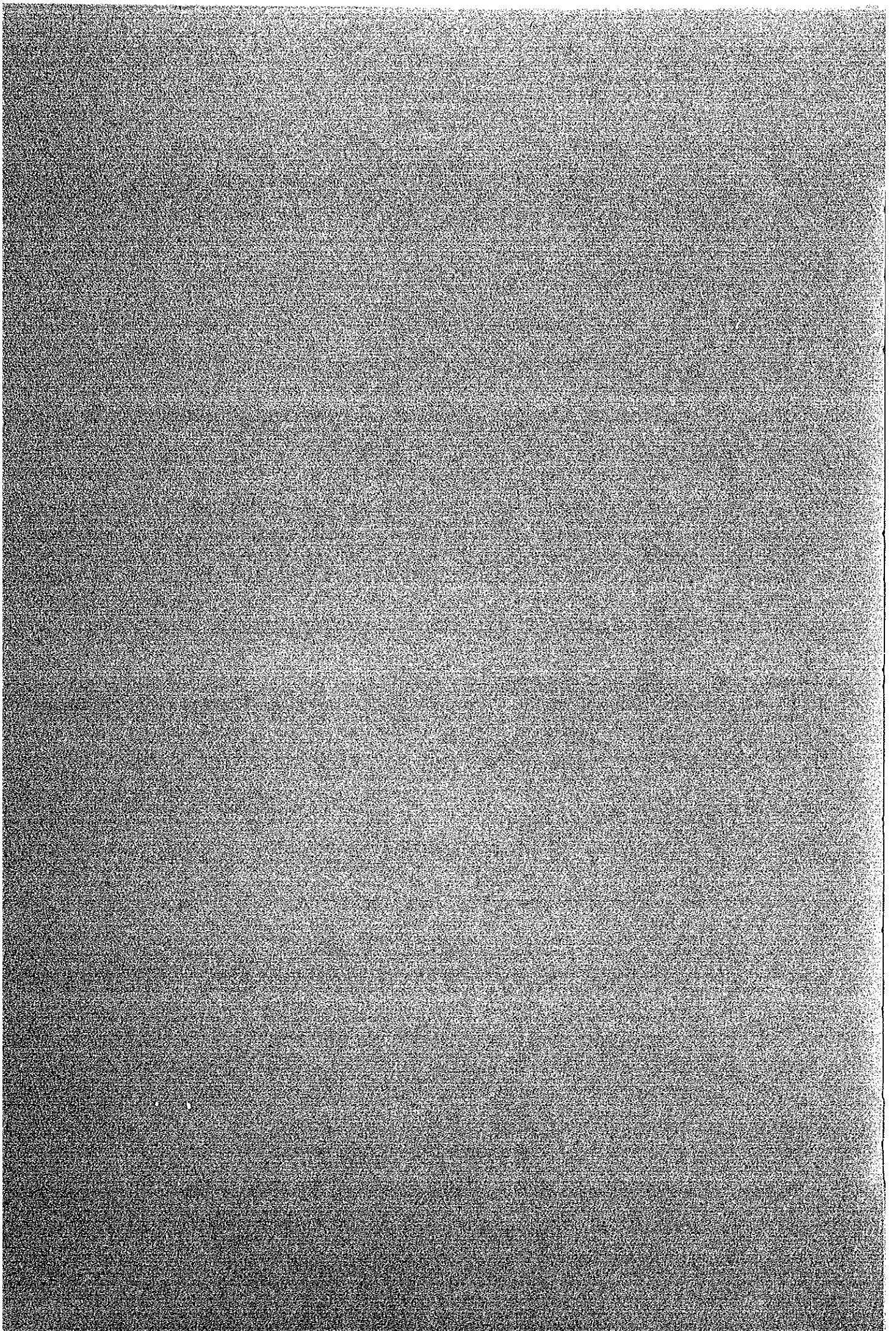
EAST ELEVATION





## 第 6 章 考察と提言





## 第6章 考察と提言

### 1 意 議

マハサラカム看護学校建設は次のように意義深いものであると考えられる。

- 1) 看護婦不足の対策として
- 2) 地域で働く看護婦を育成し、医療と地域看護を促進するため、  
Mahasarakham 地域には、150の村落があり、医療も看護ケアのレベルも低い状況である。  
従って次の点が特に期待される。
  - a. Mahasarakham 看護カレッジは、地域社会の人々のプライマリー・ヘルスケアを促進するための中心となる看護学校になる。
  - b. 看護婦が患者の問題の原因を明らかにし、解決してゆくために、様々な患者や疾病を理解しながら、基礎的な問題を学ぶことによって、問題解決過程を考える知識や能力を持てるようにする。
  - c. 看護婦が、治療(ある程度の)の責任を引受けるのみでなく、人々のために健康の増進、疾病の予防、医療と衛生条件をよりよく保つ責任を果たせるようにする。
- 3) North-Easternの医療サービスを拡大、促進するため  
North-Eastern地域は人口が多く、他の国々にも接している地点であるが、タイ国の他の地域に比較すると、開発がかなり遅れている。  
従って、健康問題が社会の様々な面、例えば経済的、教育的、行政的、文化的面に与える影響が大きいことを考えて、この地域に医療サービスを広げて、促進することは非常に大切である。  
Mahasarakham 看護カレッジの設立はこの意味で意義深いものであって地域の開発につながると、期待されているし、タイ国の人々のためにも、医療施設や設備の改良や、疾病の予防、公衆衛生の促進の点で、大いに貢献できると考えられる。

## 2 効 果

- 1) タイ国では現在、看護婦の教育年限が延長されて、4年間になりつつあり、大学教育へと統一されようとしている。

これは看護の質のために大へんよく、進歩的な姿勢といえる。

また、4年制(B.S DegreeとDiplomaの2種があるが)と2年制(Diploma)の制度に教育制度をきりかえたことは、それがたとえ、マスプロ式の教育方法をとっているとしても、日本のように、多くの准看護婦を育成することよりは、価値があることは確かである。

この意味でMahasarakham 看護カレッジ(4年制)の設立の意義は深い。

- 2) しかしながら、タイ国、特にNorth-Eastern地域には、看護婦不足という重要な問題がある。

この点は既に述べた通りであるが、看護婦不足の意味を簡単にまとめると次のようになる。

- (1) 看護婦の絶対数の不足
- (2) 4年制看護学校卒業生の不足
- (3) 地域社会で働く看護婦の不足

この問題を解決するために、保健省は国家計画を立て、それがすでに実施されている現状であり、第2期のプランは、1986年まで続くことになっている。

この看護婦増員の国家計画を遂行するために、看護学校では、各クラスの学生数をふやす方法がとられ、いくつかの学校で、すでに2ブロックシステムが予定されている。

Mahasarakham 看護カレッジもその例外ではない。

何故なら、タイ国では、国家予算も少く、新しく看護学校を建てる予算をとることも困難であり、学校数も限られているために、他に看護婦を増員する方法がないからである。

このために、Mahasarakham 看護カレッジの設立はタイ保健省にとっても非常に重要なことになる。

3) Mahasarakham 地域での実習病院の設備も状況も、看護学生のために必ずしもよいとはいえない。

600名もの多くの学生を受入れるには、もっと大きな設備のととのった総合病院が必要であるし、Mahasarakham Provincial 病院の改良が是非必要である。

しかし、見方を変えると、逆にMahasarakham 看護カレッジの設立によって、これらのMahasarakham 周辺の病院の改良が、今後期待されるであろうし、そのように努めるべきであろう。

さらにまた、地域の人々の教育レベルや医療も、次第に促進されるはずである。Mahasarakham 地域の人口が多く、他の国々にも隣接していることから、この地での看護教育の発展は、非常に、有意義な影響をもたらすものと考えて差支えなからう。苦しんでいる他の人々に、積極的に援助する看護の心を広く周辺に浸透させていって頂きたいと期待する次第である。

Grant Aid がこうした発展をバックアップし、看護教育の発展のために重要な役割りを担うことは、大へん有益なことである。

### 3 結論と示唆

マハサラカム看護学校建設計画の実施のために、また将来実施されて学校設立に至った場合の効果的な運営のために、タイ国政府が果すべき責任は大きい。以下にその主要なものを挙げるが、これらが同国政府によって、誠意をもって遂行されることを要望する。

- (1) 建設用地とインフラ施設の整備
- (2) 本建設計画手続への迅速な協力
- (3) タイ国政府の責任範囲で行う諸工事の実施
- (4) 設計、建設に関する協力と必要な便宜供与
- (5) 建物、機器の十分な保守管理
- (6) 上記タイ国政府側工事と学校施設運営管理に必要な予算措置

マハサラカム看護学校建設計画は各面から総合的に考えて、次のように結論づけられる。

純粹に教育的観点からみると、Mahasarakham 看護カレッジに予定されている教育方法は既に指適したように、必ずしも妥当とはいえない。

しかしながらもっと広い視点に立って、タイ国全体の医療状況を考えると、たとえ、マヌプロ式の教育方法をとるとしても、Mahasarakham 看護カレッジの設立は非常に有意義である。

調査団は、タイ国の North-Eastern 地域で積極的に働く、多くの看護婦がどれほど必要とされているかを、強く認識し、Mahasarakham 看護婦カレッジの規模として、1 学年 150 で、全学年で 600 名の学生を収容できる学校を設立するのが最も妥当ではなからうかと結論づける次第である。

タイ国保健省もまた熟慮した結果、学生総数 600 名の線を強く希望しており、その旨をくれぐれも日本政府に伝えて頂きたいという意向であった。

従って、調査団は、この切望に沿った学校の設立が妥当であることを、報告いたしたいと思う。

また一方、タイ保健省に、Mahasarakham 看護カレッジでの教育方法は看護婦のよりよい人格の育成と質の向上のために、いづれは、本来のあるべき姿に改善して頂きたい旨を申入れ、了解して頂いたことを、ここに申添えたいと思う。

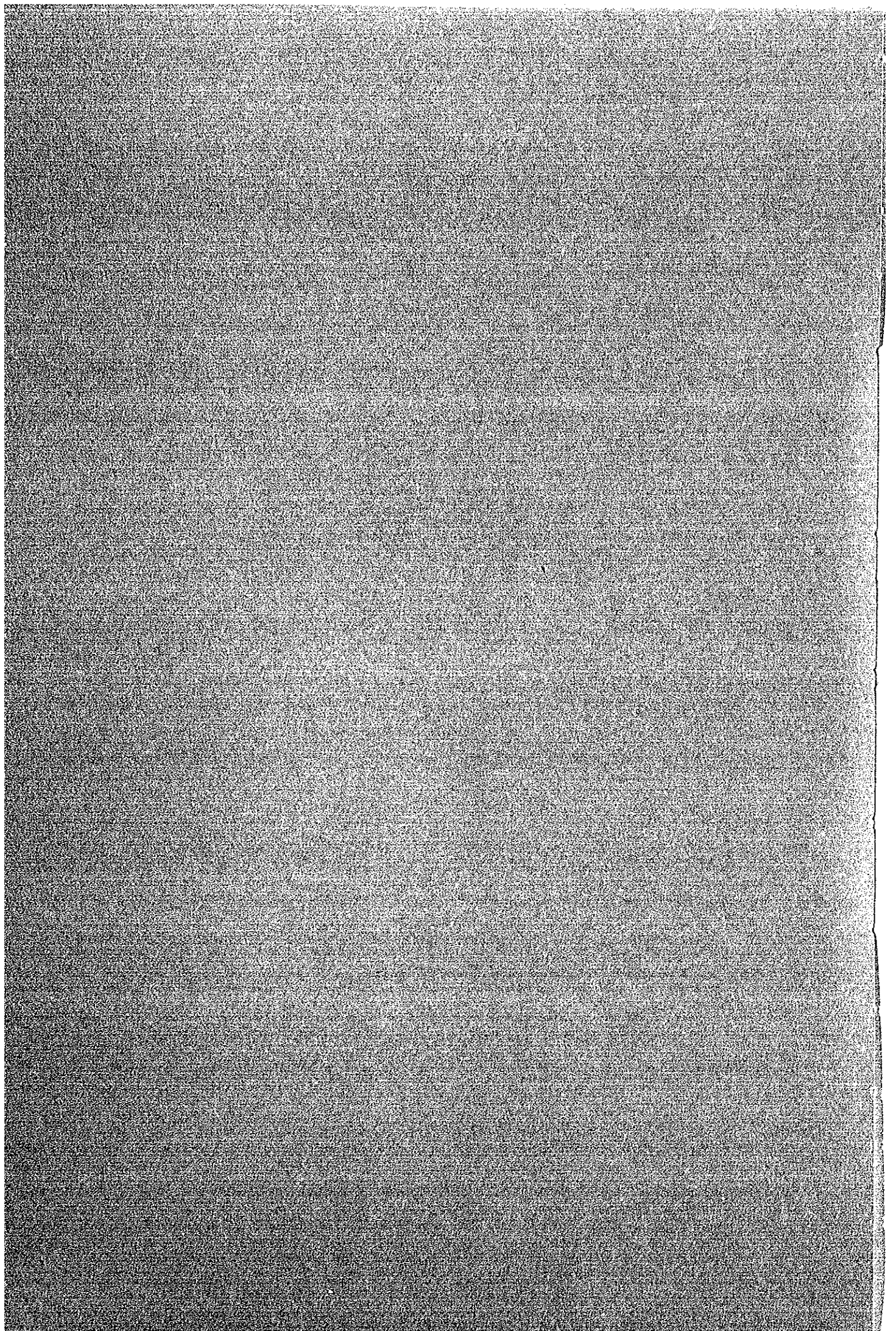
## 附属資料 1

### 1-1 タイ政府関係

- 1) タイ政府 関係者 ..... 1- 1
- 2) タイ政府 保健省 機構図 ..... 1- 2
- 3) タイ政府 保健省 看護教育部 機構図 ..... 1- 3
- 4) タイ政府 保健省 看護学校 機構図 ..... 1- 4

### 1-2 調査日程

- 1) 基本設計調査 ..... 1- 5
- 2) 確認調査 ..... 1- 8
- 3) 基本設計調査 メモランダム ..... 1- 9
- 4) 確認調査 メモランダム ..... 1-13
- 5) 既設病院看護学校写真 ..... 1-19



1 - 1) タイ政府関係者

THAI GOVERNMENTAL AUTHORITIES CONCERNED

1. Department of Technical and Economic Cooperation (DTEC)

Mr. Apilas Ostananda	Director-General
Mr. Pracha Chaowasilp	Director of Colombo Plan Sub-Division
Mr. Sutin Susila	Member
Mr. Jiroj Itharattana	Member

2. Ministry of Public Health (M.P.H.)

H.E. Dr. Prakorb Tuchinda	Under-Secretary Ministry of Public Health
Dr. Winit Asavasena	Deputy Under-Secretary Ministry of Public Health
Miss Paga Sriyuktasuth	Director of Nursing College Division
Mrs. Kaisri Tansiri	Director of Design and Construction Division
Mrs. Pongsree Sukkawund	Nursing College Division
Miss Boonprakong Batpattana	Nursing College Division
Miss Kanchana Santiputanachai	Nursing College Division
Mr. Santi Chayasombat	Architect, Design and Construction Division

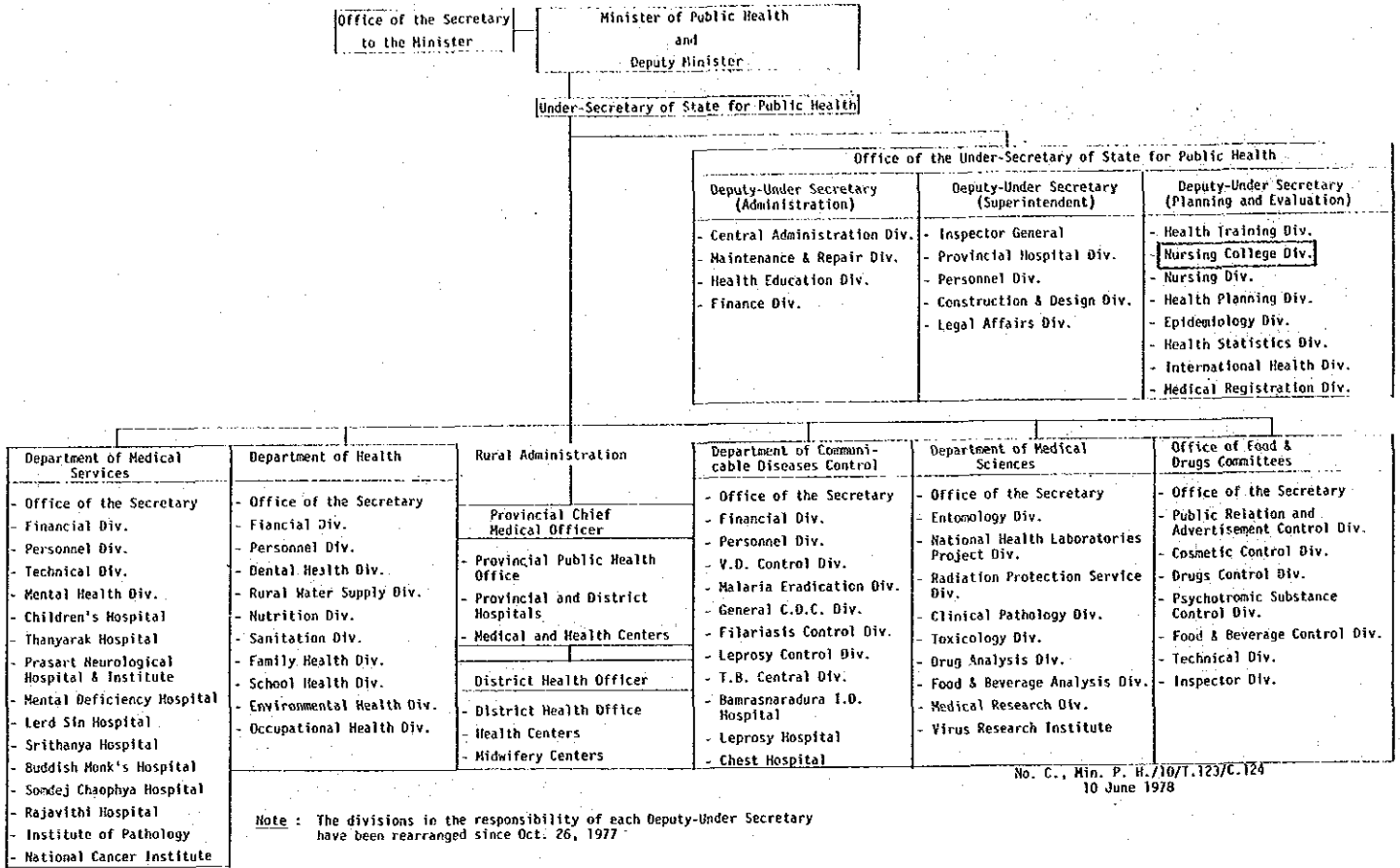
3. Mahasarakham Provincial Office

Mr. Kitti Pratumkaen	Governor of Mahasarakham
----------------------	--------------------------



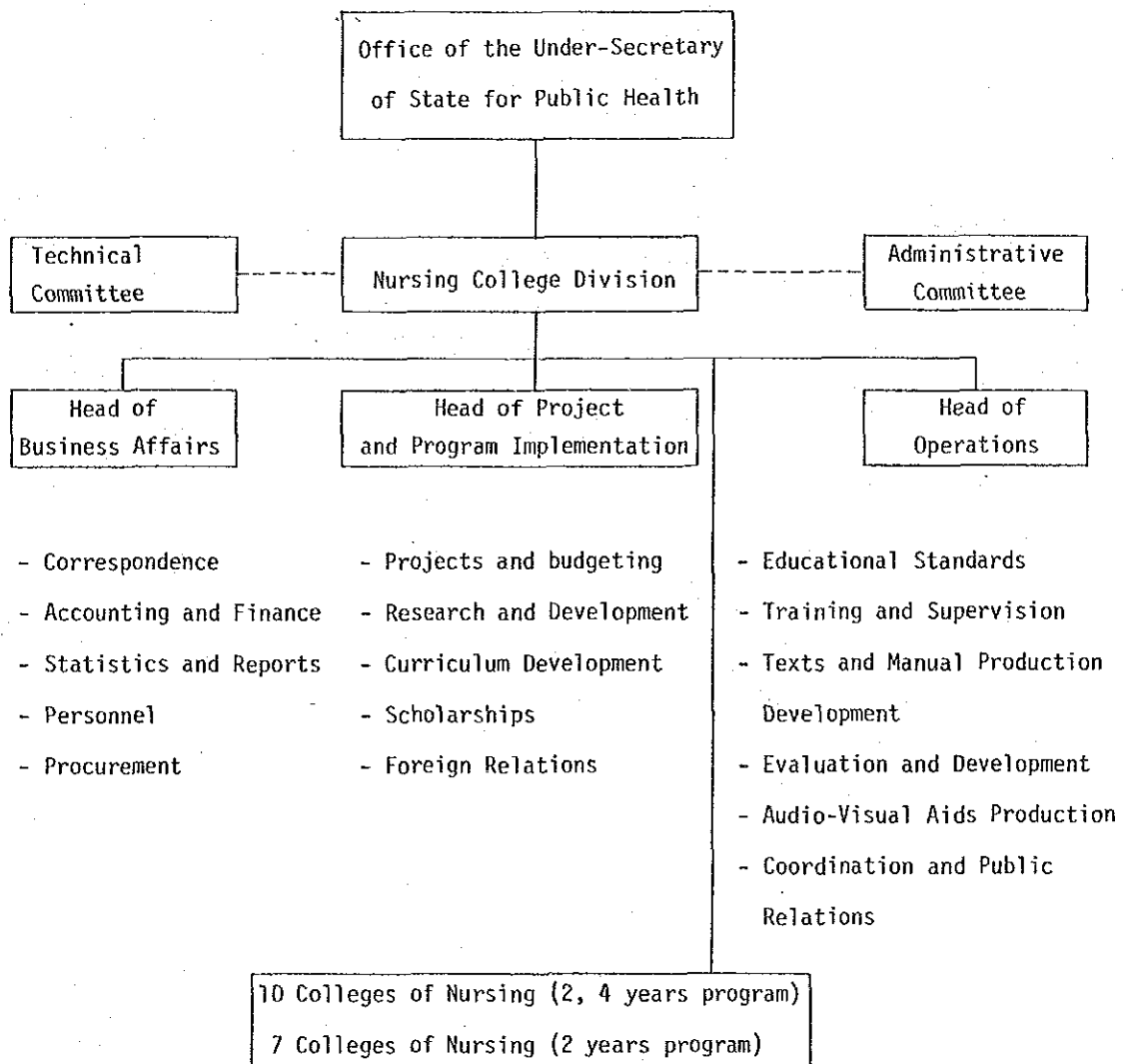
1 - 2) タイ政府 保健省 機構図

ORGANIZATION OF THE MINISTRY OF PUBLIC HEALTH



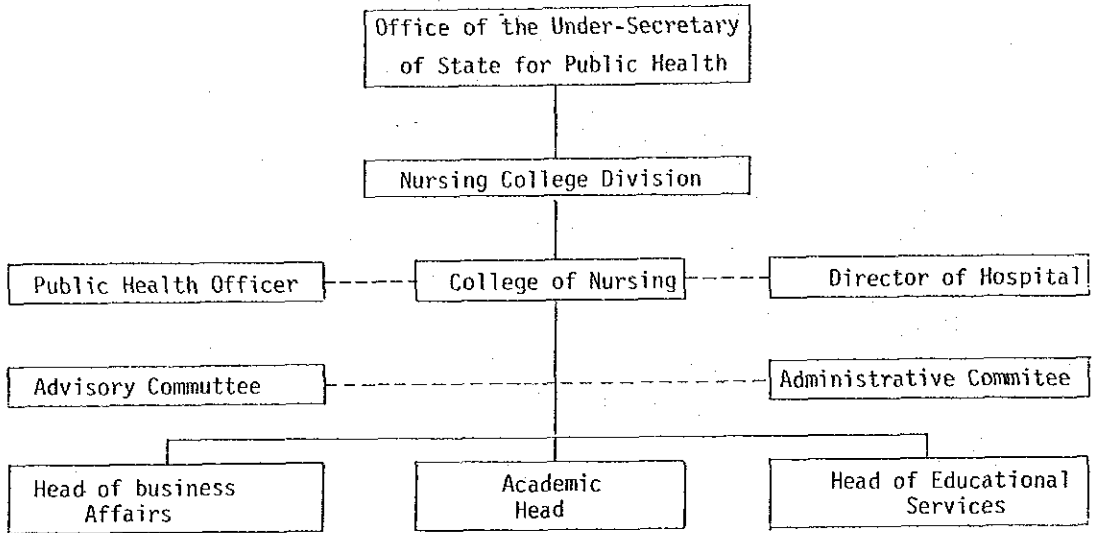
1-3) タイ政府 保健省 看護教育部 機構図

ORGANIZATION OF NURSING COLLEGE DIVISION  
OFFICE OF THE UNDER-SECRETARY OF  
STATE FOR PUBLIC HEALTH



1-4) タイ政府 保健省 看護学校 機構図

ORGANIZATION OF THE COLLEGES OF NURSING



- |                                     |                                   |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| - Correspondence                    | - Education                       | - Student Activities              |
| - Accounting                        | - Foundation of Nursing           | - Dormitories and Student Welfare |
| - Finance                           | - Medical-Surgical Nursing        | - Libraries                       |
| - Personnel                         | - Pediatric Nursing               | - Audio-visual Aids               |
| - Furniture, Equipment and Supplies | - Psychiatric Nursing             | - Guidance and Counselling        |
| - Building and Facilities           | - Obstetric Nursing               | - Registrar and Statistics        |
|                                     | - Public Health Nursing           | - Research and Evaluation         |
|                                     | - Instruction and Administration  |                                   |
|                                     | - Practical Nursing and Midwifery |                                   |

## 1) 基本設計調査

## 調査団の日程

月 日	曜日	内 容
10.27	月	東京発→バンコック着
10.28	火	バンコック D T E C 表敬訪問 大使館, J I C A 表敬訪問 日程, 調査目的, 計画概要, 保健省への提示資料についての打合せが表敬訪問で行われた。 保健省表敬訪問 保健省関係者と調査団スケジュールについて打合せと マハサラカム建設計画について協議
10.29	水	バンコック 保健省にて、保健省関係者と要請内容、看護教育と建設計画についての協議
10.30	木	バンコック バンコック市内の看護教育施設の見学 Mahidol University 看護学校 Bangkok 看護大学 Mahidol University 看護学部
10.31	金	バンコック 保健省にて建設計画、看護教育施設についての協議、および保健省建設技術部門関係者との建築設計、設備設計等について打合せ。
11. 1	土	バンコック 現地建設技術、材料、価格等の技術調査
11. 2	日	バンコック発→コンケン着(陸路バスにて)
11. 3	月	マハサラカム マハサラカム建設予定地訪問 マハサラカム知事表敬訪問および会議 建設敷地現場視察 マハサラカム地区病院訪問及び技術的事項の打合せ Wapi Pathum 地区病院の視察